



しんどうじ

校長 高田 晋仁

【目指す児童像】

自分が好き 友達が好き 学校が好き 東谷が好き
【統一理念(コンセプト)】「やる気」「根気」「負けん気」

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	全体的に、全国平均を下回っていた。資料を用いた目的を理解する問題、目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える問題に課題がある。相手に分かりやすく自分の考えを伝えるために、授業中の発表等で効果的な資料の活用や話の構成を意識して話す習慣を付けていく必要がある。
算数	全体的に、全国平均を下回っていた。グラフ等の資料の読み取りに課題がある。資料のタイトル、数値の単位等を確認しグラフの特徴を捉え、問われていることを正確に読み取る力を付けていく必要がある。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」で、肯定的な回答が全国平均を上回っているが、「学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか」で、1時間未満の児童の割合が半数を超え全国平均より高かった。学校での家庭学習の指導や家庭への啓発活動に課題がある。 ・「今住んでいる地域の行事に参加していますか」で、「参加している」割合が全国平均より大きく上回っていた。児童は、学校だけでなく地域の様々な場所で体験を積み重ね、成就感を味わっている。今後も地域と連携した教育を継続し、シビックプライドの高揚を図っていききたい。 ・「自分にはよいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」で、肯定的な回答が昨年度に引き続き全国平均よりかなり低かった。自尊感情を高めていくことが本校の課題である。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 文章や資料から目的に合った情報を読み取る力を付けるために
 - ・ 様々な文章や資料に触れさせるために、朝の学習等の時間を活用して練習問題を継続的に取り組む。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 家庭学習の習慣を付けるために
 - ・ 学校だより等で、家庭での勉強時間の実態を伝え、テレビ視聴時間、ゲームをする時間、学年に応じた家庭学習の時間等の生活のリズムの改善を呼びかける。
 - ・ 学校においては、自主学習の内容やノート指導を行う。